

在留邦人の皆様へ

平成30年1月5日  
在ザンビア日本国大使館

## コレラ流行に伴う注意喚起

### 【ポイント】

- 2017年10月以降、ザンビアでコレラが流行しており、2018年1月2日までに累計で1,940例（うち死亡48例）のコレラ感染例が報告されています（2018年1月2日 ザンビア保健省発表）。
- 食事の前及びトイレの後の手洗いの励行、食物の加熱や路上販売の飲食物を口にしないなど、コレラの感染予防に努めてください。

### 【本文】

1 現在、ザンビアのルサカを中心としてコレラが流行しております。ザンビア保健省の報告では以下の州で感染者が出ております。

- ルサカ州
- 中央州
- 東部州
- 西部州
- 南部州
- コッパーベルト州

なお、ルサカにおける感染者の大半は市内の以下のコンパウンドに集中しております。

- Chipata
- Kanyama
- Matero
- Chawama
- Bauleni
- Chelstone

2 コレラについて

(1) コレラはコレラ菌 (Vibrio cholerae) に汚染された水、氷、食品などを経口摂取することによって起こる、下痢を主症状とする病気です。潜伏期間は数時間から5日で、その後、下痢や嘔吐などの症状がみられます。腹痛や発熱はほとんどみられません。下痢の症状は様々ですが、重い場合は多量の水のような下痢 (米のとぎ汁様) となり、脱水症状を起こします。胃腸の弱い人や胃切除を受けた人、高齢者、乳幼児などは重症化し、昏睡状態に陥り死亡する例もあります。

(2) 治療方法としては、下痢によって体内から失われた水分と塩化ナトリウム等の電解質の補給が主となります。脱水症状が激しい場合は点滴による治療が必要となり、抗生物質を併用します。

(3) 予防方法としては、流行地では、以下のような基本的な感染症予防対策を心掛け、感染が疑われる場合には、直ちに医師の診断を受けてください。

- 食事の前、トイレの後の手洗いを励行する。
- 食物は、十分加熱してから食べる。路上で販売されている飲食物は口にしない。
- 飲料水や調理用の水はミネラルウォーターを使用する。水道水を利用する場合は、十分に沸騰させた後使用する。
- 安全な水から作ったことが確認できる氷以外は使用しない (コレラ菌は冷凍しても死滅しません)。

3 現在、ルサカ市内ではザンビア政府が学校を一時的に休校するなどの感染拡大防止措置を実施しておりますが、在留邦人の皆様におかれましては、感染地域 (コンパウンド) への訪問や不特定多数の集まる集会等は避けてください。また、コンパウンド居住者との握手等も避けるようお願いいたします。

○在ザンビア日本国大使館

住所 : No. 5218, Haile Selassie Avenue, Lusaka, Zambia

電話 : +260-211-251555/252036/252039

F A X : +260-211-254425/253488

ホームページ : [http://www.zm.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](http://www.zm.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

○在ザンビア日本国大使館領事担当官携帯電話 (緊急時のみ 24 時間対応可能)

TEL : 097-7-771205~6

(国外からかける場合 (国番号 260)-97-7-771205~6)

